

令和2年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人柔道大会 要 項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 令和2年10月3日(土) 7時00分 開場
7時30分 顧問会議(審判会議を含む)
8時30分 開会式
9時00分 試合開始

※無観客での開催となります。
会場内には、監督・選手・コーチ・大会役員
のみの入場となります。

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113

5 大会役員

専門部長 松本 明良(あずま中)
専門副部長 堀口 利文(第一中)
専門委員長 三輪 洋介(宮郷中)
委 員 竹林 千晴(第一中) 石川 弘子(第一中) 新井 聡明(第二中)
吉澤 克明(第三中) 南雲 由則(第三中) 高橋 哲(第四中)
井上 源貴(第四中) 星野 治道(殖蓮中) 栗原奈緒美(宮郷中)
坂部 洋平(赤堀中) 菅沼 明広(赤堀中) 木暮 寛幸(あずま中)
中森 壽美(あずま中) 佐藤 康(境南中) 中畠祐一郎(玉村中)
渡邊 健斗(玉村中) 柿沼 翔太(玉南中) 野口 高弘(玉南中)

6 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。

7 選 手

- (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。
- (2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。
- (3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
- (4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
- (5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。
- (6)個人戦は中体連柔道部事前調査により、階級別で行うものとする。
ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。

8 試合時間

《団体戦》リーグ戦 2分

《個人戦》2分

9 試合方法

《団体戦》団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1)男子は5校によるリーグ戦を行う。女子は3校によるリーグ戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

《個人戦》

(1)男子は3階級、女子は2階級でリーグ戦を行う。

(2)個人戦における判定基準は、「技あり」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

10 表彰

団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校・3位校には賞状を授与する。

個人戦は、各階級の優勝者に伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟柔道部からの賞状を授与する。

11 代表資格

《男女団体戦》

男子は優勝校、第2位校の計2校、女子は優勝校、第2位校の計2校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

《男女個人戦》

県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

- ・リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは旗判定により勝敗を決する

《個人戦》

- ・得点差がないときは旗判定により勝敗を決する。

13 その他

(1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。

なお襟から5～10cm下に下記のように付ける。

(2)選手の柔道衣は、白色とし、全柔連認証柔道衣とする。ただし、帯についてはその限りではない。

(3)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(4)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(5)熱中症が疑われる場合は、一連の大会には出場できない。

(6)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。

(7)正式申込み書は、当日提出するものとする。

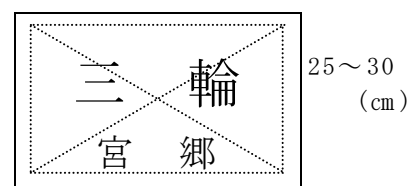
(8)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学校名
					補員
					補員

(模造紙 1/4)

(ゼッケン) 30～35(cm)



- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。

14 感染症予防に関する留意事項

(1)大会当日までの毎日検温、健康状態の把握をお願いします。

(2)健康観察記録表は当日持参し、健康状態申告書(顧問作成)は回収いたします。

(3)大会中のマスクの着用(マスク保管用袋持参)、手指消毒をお願いします。

(4)大会会場までの送迎は、乗り合わせをせず、各家庭でお願いします。